



いいわて 議会だより

平成29年3月定例会
No.
74
2017.5.2

発行：福島県飯館村議会
編集：議会広報編集特別委員会



川俣地区飯館自治会きつつきの会(川中島古戦場跡にて)

議案審議「ザ・議論」	2
予算審査特別委員会	3～5
一般質問「村政 ここが聞きたい？」	6～9
審議結果	10～11
議会のうごき、編集後記	12

ザ・議論

3月議会では補正予算案6件、当初予算案6件、条例案15件、その他9件が審議されました。

その議論の一部を紹介します。

補正予算

交流センター

自動ドア交換工事

質問 12月の補正予算で計上された172万

8千円が全額減額されているが、その内容と工事の結果は。

答弁 工事関係業者との打ち合わせで全額業者負担することとなった結果の減額補正である。

また工事については2月21日までに完了している。



▲修繕が終わった自動ドア

被災地域農業施設等整備工事

質問 被災地域農業施設等整備工事5、92

3万5千円を減額補正しているがその内容は。

答弁 松塚地内の花卉栽培パイプハウス及びカスミ草ハウス17棟。

深谷拠点のガラスハウスの入札の結果、請差が生じたものである。

質問 備品購入費も2,773万7千円の減額となっているが。

答弁 松塚地内花卉栽培施設の予冷庫購入及び放牧実証での機械導入、深谷拠点のガラスハウスで使用する高所作業車1台と土入れ機の購入での請差となっている。当初の見積が悪かったということである。

センター地区土取り場

質問 センター地区土砂売り払い収入に3、

313万円が計上されているが、m単価50円に設定された理由は。

答弁 24年度から私有地の土砂買取りを大成JVが行ってきたり、今回だけ値上げする訳にもいかず、前経過に合わせた。

質問 どのような整地、保全管理をして返却してもらうのか。

答弁 のり面の芝吹き付け、道路面の緑化整備、調整池の造成、土水路の整備、更地に関しては現状で返却という形になる。



▲センター地区土取り場の状況

災害復旧工事

質問 農地等災害復旧工事の7,000万円

減額の理由と今後どうなるのか。

答弁 当初、国の補助に該当しないということで、単費で計上していたが、その後加速化交付金と生活環境整備という国の交付金の対象となったため、新たに予算計上したため減額したものである。

28年度で出来なかった部分は29年度予算で復旧していきたい。

スクールバスの運行

質問 スクールバス運行業務について、1、

000万円程度減額になっているが、実態はどうなっているのか。

答弁 主にさくら交通に委託している部分の減額である。当初の見込みより児童生徒数が減ったため、効率的かつ村のバスを優先して使用していくことで台数を減らしている。

道の駅「まどう館」コンビニ建設工事

質問 コンビニが指定

管理者直営となった経過は。

答弁 個人オーナーになつてくださった方を捜してきたが、決定に至らずセブンイレブンとの話し合いの結果、直営で運営することになった。

予算審査特別委員会

予算総額は
240億円

平成29年度当初予算は、予算審査特別委員会を設置し、委員長に飯樋善二郎議員、副委員長に高野孝一議員を選出、3月9日、10日、14日の3日間、一般会計と特別会計の6会計を審査しました。

一般会計当初予算は、212億3,500万円、国民健康保険特別会計等の特別会計を加えた当初予算総額は、240億4,000万円となり、昨年に引き続き過去最大規模の当初予算となりました。

全委員の活発なる発言により審査が行われ、新年度予算が全員賛成で可決されました。

予算編成の基本は

質問 「着実な帰村を

実現し、復興をより確かなものにする予算」との方針を示されたが平成29年度予算編成にあたっての基本的事項について伺う。

答弁 30年4月の学校再開に向けての事業は村としての最大の課題である。大型事業の着

実な実施に向けて予算編成を行った。基本的な考え方は、「国、県の有利な補助事業等での財源確保」、「復興計画の着実な推進」、「コスト意識」、「規律ある財政運営」及び「年間見通しに基づく予算計上」である。

学校再開整備事業 スポーツ公園整備

質問 当初予算で学校

再開整備に約40億円、スポーツ公園整備に約

23億7,000万円が計上されている。先の議会全員協議会において、さらに、

3億1,000万円の増加が見込まれると説明しているが、この予算増加は今後の手続きや工事施工において、支障が生じないのか。

答弁 現在は実施設計

行い、2月にその工事費について、各省協議をしている。中学校エリアは各省協議がほぼまとまり、現在財務省協議、スポーツ公園エリアは国交省協議を終え、その後財務省協議ということを進めている。4月3日に内示が予定され、全体で3億円程度増える。4月初に補正予算に関する臨時会や4月下旬に工事契約に関する臨時会をお願いして、計画どおり工事を進めたい。

平成29年度各会計の当初予算額と採決の状況

会 計 名		当初予算額	前年比(%)	採決の状況
一 般 会 計		212億3,500万円	131.9	全員賛成で可決
特別会計	国民健康保険	12億2,649万円	▲1.2	〃
	簡易水道事業	1億2,305万円	26.0	〃
	農業集落排水事業	3億7,860万円	855.0	〃
	介護保険(事業勘定)	9億9,956万円	▲4.7	〃
	介護保険(サービス勘定)	1,032万円	65.4	〃
	後期高齢者医療	6,708万円	5.1	〃
合 計		240億4,009万円	106.3	

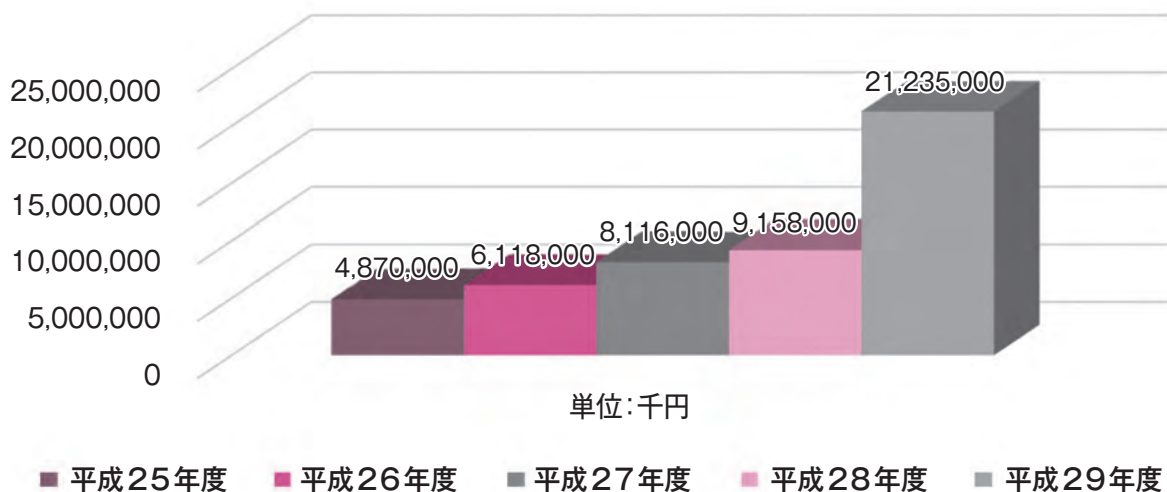
※金額は千円単位を四捨五入し、万円単位にしています。

平成29年度一般会計当初予算 過去最大規模となる

212億3,500万円

学校等再開整備事業、スポーツ公園整備事業、深谷復興拠点エリア整備事業、被災地域農業復興総合支援事業などの事業により昨年度と比較して120億7,700万円の増であり、その中で復興対応事業分は約177億円と予算全体の約83%を占めている。

一般会計当初予算額5年間の推移



いいたて クリニック

質問 いいたてクリニックの診察状況と今後の計画について伺う。

答弁 帰って来る村民が少ないため、1週間に2日間、午前中の診療により、受診者は1ヶ月に5〜7人程度である。

今後頼りにされるクリニックにするために、サロンの事業を行いたい。

結婚新生活 支援事業

質問 結婚新生活支援事業の内容はどのようなものになっているのか。

答弁 平成29年4月1日以降に結婚した世帯が該当する。2人が同居し、前年度の所得が340万円未満の世帯に対し、住宅取得や引っ越し等に24万円が支給される。

おかえりなさい 補助金

質問 仮設住宅や借上げ住宅から村へ帰る世帯に対しての引っ越し補助金で20万円を補助するという説明である。全協では1週間のうち半分以上家に泊まれば対象に該当させて柔軟に対応するということであつたが、その後はどのようなものなのか。

答弁 そのままである。一人でも多く村に馴染んでもらうことになれば、半分以上住んでいたければ引越したものと見る。

質問 補助金の返納についてはどうに考えているのか。

答弁 何らかの事情あるいは故意的であつた場合には、補助金を返していただくことになる。

防犯設備機能 回復工事

質問 防犯設備機能回復工事の内容はどのようなものになっているのか。

答弁 街路灯が草野・飯桶線に380基、防犯灯が村内20行政区に500基の計880基ある。公道から5m以内の防犯灯は今回の工事で行う。

街路灯は調整しながら切れている電球の交換、防犯灯は基礎の部分から修繕が必要なものをを行う。

質問 今の電球を経済的なものに切り替えていくのか。

答弁 今使っている白色灯が手に入らなくなってきたのでLEDにしていきたい。



河川の維持管理

質問 2級河川等の

草刈業務に1億3、000万円が計上されてキロ数も出ており、

今回は帰還再生加速化事業で行うとのことであるが事業の内容はどのようなになっているのか。災害を防ぐためにも、また安心して生活ができるためにもそういう事業を早く探して県と協議を進めていただきたい。

答弁 基本的には支障木伐採と草刈りである。土砂の撤去に関してはまだ明確な事業が見つかっていない。

再生加速化事業等で進めることを検討しながら、できるのであれば29年度に補正で実施していきたい。

葬儀場の整備

質問 葬儀場の管理と

運営についてどのような形で、どういう体制で行うのか伺う。

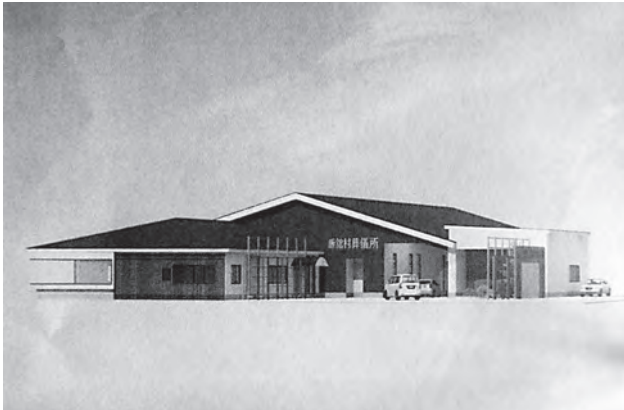
答弁 帰村に当たり村内での葬儀場の整備ということで、28年度準備を進めてきたところである。施設の利用見込みは、当面帰村される方の数の見通しがつかない状況であります

ので葬儀が何件くらの希望があるのかつかめない。当面は村の直営という形にして、ご

希望がある都度施設をお貸しするという形で進めていきたい。

質問 借りる場合の連絡体制はどのようにされるのか。

答弁 基本的には農協と話をしながら今後の運営について順次詰めていきたい。



▲葬儀場のイメージ

マスコットキャラクター

質問 マスコットキャラ

クターをつくって今後どのようにしていくのか。

答弁 今後村のイメージアップ、PRにさまざまな場所で活用したい。当面、道の駅「ま

でい館」のオープンに間に合わせたい。

質問 村公認という形で取り上げていくのか。

答弁 税金を使って作る物であり、村公認のキャラクターになる。

防犯指導隊

質問 防犯指導隊の交

付金が新規事業として予算計上されているが内容について伺う。

答弁 防犯指導隊は休止していたが、今回村の防犯の一役を担いたというところで、昨年

月を用途に事業計画を作成し、防犯診断や公

共施設等の見回りを行うものである。

民家園修繕工事

質問 民家園の屋根を

茅葺き屋根ではなく銅板製にしたいとの説明を受けたがその理由について伺う。

答弁 今回、村民の森

全体の観光の再開に向けて茅葺き屋根改修を計画している。屋根の

骨組、本体から全て交換せざるを得ない状況になっている。見積をとった結果、カヤ葺きの方が改修費用が多く

かかる部分があり、今回復興庁と協議して銅板製を計画したものである。



▲予算審査特別委員会の様子

ズバリ 村政

ここが
ききたい？

一般質問 Q & A

3月定例会の一般質問に3議員が登壇し、村の対応や考えなどを問いました。
次ページからは、質問した順に質疑応答を要約し掲載します。

菅野 新一 議員

- 1 徹底した除染とそれに関わる課題について
- 2 避難解除後の営農再開と農地保全の課題について

相良 弘 議員

- 1 高齢者の福祉について
- 2 飯舘村森林組合の木質バイオマス事業について

渡邊 計 議員

- 1 懇談会について(住民懇談会含む)
- 2 原子力被災自治体における住民意向調査について
- 3 大谷地村営住宅について
- 4 公共施設について
- 5 小宮の焼却炉について

※一般質問とは

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等について村長の所信、役場の見解やとりくみをただしたり提案、誘導していく政策論議です。





菅野 新一 議員

質 徹底した除染とそれに関わる課題について

答 国・県・村・長泥区長の四者で十分協議を重ね「ミニ拠点の整備」など復興に向けて取り組みます

質問 帰還困難区域である（長泥行政区）の今後の村としての取り組みを伺う。村内唯一の国道399号線は、長泥地区行政区の中心を横断して、双葉郡浪江町津島地区で、国道114号線と交差している。そのため、中間貯蔵施設である、双葉

町や大熊町には本村からは最短距離であり、村に大量にある汚染（フレコンバッグ）を少しでも早く片付けるためにも、周辺地区の道路除染と、399号線の整備などを含め、長泥行政区の復興と再生のため、村としての所見を伺う。

答弁 帰還困難区域である長泥行政区について

は現在避難指示解除の見込みが立たず、今後村復興の大きな課題となっている。道路除染については国の計画によると長泥行政区の国道399号線及び県道原町二本松線については、平成29年度にインフラ整備として道路除染が実施される見込みである。今後、国・県・村・長泥地区住民の四者で、十分協議を重ね「ミニ拠点の整備」など長泥地区の復興に向けて、計画策定も含め取り組んでいく。

質問 本村は原子力災害の被災地であり、帰還に向けて農地及び、住宅周辺の除染は進められてきた。しかし、飯館村の面積の75%を占める林地は、住宅周辺を除き除染がされていない。そのため、村の基幹産業である林業

は帰還しても再開できない状況にある。林業を業とする方々のため、森林再生と里山などを含め、村として今後の取り組みを伺う。

答弁 村では、平成27年7月に林野庁を訪問し、村内での林業再生に向けて「里山再生事業の創設、獣害対策を兼ねた間伐作業の支援、林内作業員の許容放射線量基準の策定と安全対策支援、木質バイオマス利用による焼却灰の処理」について、要請をおこなっている。その結果28年3月付で、復興庁農林水産省、環境省の連名にて、「福島森林・林業の再生に向けた統合的な取組」が示され、国が里山再生モデル事業に取り組む事になった。

質問 河川・ため池、用排水路、その他の汚染土砂や堆積物の取扱

いと、処分方法を伺う。

答弁 国による除染対象エリアである用排水路や道路除染の側溝から発生する除去土壌については、環境省で中間貯蔵施設に搬入することになっている。しかし、河川や大型水路等の堆積物については、除染以外から発生した除去土壌は取り扱わないとしており、現在クリアセンターの敷地に一時保管をしている。

避難解除後の営農再開と農地保全の課題について

質問 農業者支援事業は4分の3事業の補助となっており、その半面、制約もあり、なかなか利用しにくいと思われる。小規模経営農家でも利用できる面積や、その他の規制などをなくし、誰でも利用ができる方法はないのか。

答弁 原子力被災12市町村農業者支援事業等ありますが、事業活用上の制約や利用のしにくさであるが、県からは農地保全対象とならないことや、導入する農業用機械の馬力等に応じた栽培棟の面積要件が示されている。一方で農業用機器等の導入であれば、知事特認より認められる場合があると回答を得ている。村としては被災前に所有していた農業用機械の性能等を聞き、事業計画に盛り込み、農業用機器等の導入が円滑に進むようにしていきたいと考えている。



相良 弘 議員

質 高齢者の福祉政策について

答 介護人材育成を支援

いいたてホームの

有効利用について

質問 現在、いいたて

ホームの入所者は34人、待機者数は40人となっている。受け入れ可能な床数は十分あるのに受け入れられないのはスタッフ不足にある。帰村する高齢者がいいたてホームに期待する声が多い中、村としての具体的な対策を伺う。

答弁 介護職員不足は

厳しい状況にある。介護人材育成のため助成補助を実施し、近隣市町村の介護事業所との協議を進めている。

質問 飯館村を特区と

して外国人労働者雇用を国に要望してはいかがか伺う。

答弁 出来るだけ早い

時期に要望したい。

飯館村社会福祉協議会の活動について

質問 避難指示解除に

伴い、社協の拠点となるべき事務所も飯野町から飯館村へ移転されました。活動範囲も当然広範囲になってきます。村としての職員の増員等、支援策を伺う。

答弁 放射線相談支援

員を増員し、訪問活動の強化を支援するとともに、高齢者の居場所づくりのため、サロンを立ち上げ自由な環境を提供したい。

質問 村内のボラン

ティア団体と連携し訪問活動を充実させてはどうか。

答弁 各種ボランティア

ア団体と懇談会を開き検討したい。

飯館村森林組合の木質バイオマス事業について

質問 現在森林組合で

は通常の業務である組合員のための森林再生事業は難しくなっている。森林組合では将来のエネルギー事情を考えた、森林組合の生き残りをかけ、木質バイオマス事業を実施すべく調査研究を進めている。村としての支援策を伺う。

答弁 バイオマス施設

の設置場所、事業の採算性、焼却灰の保管場所等総合的に検討し、早期に間伐、除伐等の森林施業を再生できるようにしたい。

再生可能エネルギー

活用として復興計画

を検討

質問 村での入山が難

しい現状で木材の調達はどうするのか。又、

研修を予定しているが重点研修の考えを伺う。
答弁 木材調達も研修についても今後検討される設置場所、事業規模に応じて決定したい。



▲いいたてホームの現状



渡邊 計 議員

質 大谷地住宅の不備と今後の対策について

答 1年点検時に現地確認を行い修繕を実施する

質問 入居者から住宅に不備があったと聞いているが、その内容と今後の対策について伺う。

答弁 建具レールのゆがみや、木材継ぎ目の隙間、土間、犬走りコンクリートのひび割れ等の報告を受けています。すぐに修理できるものについては、工事

業者により対応していますが、コンクリートのひび割れ等は、原因を明確にし、対応したいと考えています。今後は、1年点検時に入居者と施工業者を含めて現地確認を行い、修繕等を実施する予定です。

質問 壁紙のはがれ、ダウンライトの落下、

トイレの鍵がかからない等聞いていますが。

答弁 先週報告を受けまして、現場の確認をしているところです。至急修繕を実施していきます。

質問 私が見たところ8件すべての犬走りにひびが入っていたが、確認しているのでしょうか。

答弁 確認しております。

小宮の仮設焼却炉にCS2

質問

3月で稼働終了となる仮設焼却炉の解体の時期や方法など、解体工事計画はどうなっているのか、また、地元行政区や運搬経路に当たる行政区に説明する必要があるのではないのでしょうか。

答弁 環境省からは、4月に入りましたら事前調査・準備工事等始まり、本体の解体撤去

及び汚染されていない設備については5月中旬頃から、炉や放射性物質・ダイオキシンなど汚染されている設備については7月中旬頃

から養生シートで囲み、負圧管理をしながら解体し、平成30年1月までに、原状回復をする計画です。運搬については今後詰めさせていただきます。尚、関連する行政区には説明しながらやっていきたいと思っております。

公共施設について

質問 学校・村営住宅・役場・交流センターそれぞれ

の年間維持費と公共施設全体の維持費および搬出財源について伺う。

答弁 維持費としましては、光熱水費、施設・設備の保守管理費が主なもので、平成29年度予算では、

・学校（仮設小学校）約2,100万円

・住宅約460万円

・役場約3,500万円

・交流センター約1,000万円を計上しております。

公共施設全体では、平成29年度予算額は約2億2,000万円です。財源は基本的に地方交付税等の一般財源であります。

住民懇談会にCS2

質問 参加人数と主な質疑について伺う。

答弁 参加者数は全体

で355名です。質疑については、「除染実施後の線量低下が不十分」「山林・ため池等の今後」など、除染に関して「被ばくの不安」「放射線の基準」等、健康に関して「仮設の入居期間」「井戸掘削」等、制度に関して「農地の維持管理・鳥獣被害」「風評被害」等、農業再開に関して「新聞・郵便の配達」「医療・介護」「交通手段」等、帰村後の生活について様々な質問が出されております。



▲大谷地団地の様子

審議結果

3月議会では平成28年度補正予算案6件、平成29年度一般会計と特別会計予算案6件、条例15件その他9件が審議されました。

審議の結果、全員賛成によりすべて原案どおり可決されました。

議題は下記のとおりです。

- 平成28年度飯舘村一般会計補正予算(第11号)
- 平成28年度飯舘村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)
- 平成28年度飯舘村簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成28年度飯舘村農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成28年度飯舘村介護保険特別会計補正予算(第5号)
- 平成28年度飯舘村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- 平成29年度飯舘村一般会計予算
- 平成29年度飯舘村国民健康保険特別会計予算
- 平成29年度飯舘村簡易水道事業特別会計予算
- 平成29年度飯舘村農業集落排水事業特別会計予算
- 平成29年度飯舘村介護保険特別会計予算
- 平成29年度飯舘村後期高齢者医療特別会計予算
- いいたて村の道の駅までい館設置条例
- 飯舘村教育委員会事務局の指導主事の給与に関する条例
- 飯舘村いじめ防止等に関する条例
- 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

- 飯舘村職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
- 飯舘村税条例の一部を改正する条例
- 飯舘村奨学金貸付条例の一部を改正する条例
- 飯舘村ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- 飯舘村農林漁業体験実習館設置条例の一部を改正する条例
- 飯舘村地域資源活用総合交流施設設置条例の一部を改正する条例
- 飯舘村健康増進交流施設設置条例の一部を改正する条例
- 飯舘村消防団設置等に設置に関する条例の一部を改正する条例
- 飯舘村農の大地活性化推進会議設置条例を廃止する条例
- いいたて村の道の駅までい館の指定管理者の指定について
- 被災地域農業復興総合支援基幹事業農業用施設等整備工事請負契約の変更について
- 佐須辺地に係る総合整備計画の変更について
- 岩部辺地に係る総合整備計画の変更について
- 道の駅「までい館」建設工事請負契約の変更について
- 既存村営住宅修繕工事請負契約の変更について
- 監査委員の選任につき同意を求めることについて
- 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて



◎ 人事案件に同意しました

① 監査委員

○ 高橋 賢治 氏
二枚橋字本町270

② 固定資産評価審査委員会委員

○ 渡邊 守男 氏
小宮字沼平7-2

○ 山田 よし子 氏
八木沢字下八木沢
128

議会の主な動き(1~3月)

《1月》

16日

・広報編集特別委員会

18日・19日

・総務文教常任委員会

所管調査(宮城県)

19日・20日

・産業常任委員会所管調査(千葉県)

22日

・議会住民懇談会

25日

・議会運営委員会

・全員協議会

・第1回臨時会

《2月》

13日

・国関係機関に要請・要望

16日

・全員協議会

28日

・議会運営委員会

《3月》

3日

・第2回定例会(初日)

・全員協議会

7日

・一般質問

9日・10日・14日

・予算審査特別委員会

16日

・全員協議会

・議案審議(最終日)

常任委員会 の活動

総務文教常任委員会

1月18日・19日

○学校再開に向けた教育施設等の整備に係る対策と小規模校での特色ある教育の状況訪問調査。

《主な内容》

宮城県気仙沼市立月立小学校訪問。市では、小規模特認校制度を平成19年度から導入し、市内どこからでも就学を認めている。新校舎を建設し、特色ある学

校づくりや教育活動を推進することなどを目的としている。市内全域で統合が進み大規模校に通学にくさを感じている児童にとつては小規模校を選択できるメリットがある。少

人数学級指導のため生徒の実態をよく把握し丁寧な指導がなされている。

産業厚生常任委員会

1月19日・20日

○いいたて村の道の駅までい館整備に向け、村内の産業振興及び地域産業との連携など、今後の道の駅運営について先進地訪問視察調査。

《主な内容》

道の駅あずの里いはら・農産物直売施設と公共施設の連携、県の農業センターやゴルフ練習場、パークゴルフ場が隣接しバーベキュー広場、ピクニック

広場、花木園など老若男女問わず自然とふれあえる施設となつている。村の施設にあつてはしっかりとした設置理念と将来像は必然であると思われる。

避難解除に向けた復興と再生に関する国への要望書

2月13日

国への要望活動
一、里山除染と再生について

1. 林縁部から20mを超える部分の除染を国の責任で実施すること。
2. 地域の実情に応じた放射性物質流失防止対策を講じること。
3. 森林再生と整備を一体的に行うことが必要な為、長期的な視点に立つての財源を確保すること。
4. 営業損害の継続について。

二、生活支援制度の確立について

1. 相当期間、風評被害も予想されることから、減収分の補てん制度を早期に確立すること。

三、仮設・借り上げ住宅制度の継続について

四、農地の保全管理に對する支援について

五、東京電力福島第二原発の全基廃炉をすること

六、帰還困難区域への対応について

1. 区域内への立ち入り要望が益々強くなり特に墓参りの為の滞在時間の延長や除染・不要家屋の解体や片付けごみの処分等、他行政区と同様の対応を強く求める。

編集後記

全村避難という厳しい不自由な生活も6年

発行責任者

議長 大谷 友孝

編集

広報編集特別委員会

委員長 飯樋善二郎
副委員長 渡邊 計
委員 松下 義喜
北原 新
菅野 孝一
高野 孝一

が経過し、この春3月31日に帰還困難区域を除き避難指示が解除となりました。新たな春を迎え、村に戻った方、または色々の事情で今すぐには帰れない方などまだまだ多くの課題が山積しています。が、村民の声を大事にしながら、生活再建と村の復興に全力で取り組んで参ります。この夏には村の復興拠点である道の駅が完成し新たな村の再生がより一層進むスタートとなりますが、皆さん方のご理解とご支援をお願い致します。